

北海道・三陸沖後発地震注意情報

2025年12月8日23時15分頃に青森県東方沖を震源として発生した“青森県東方沖地震地震”では、最大震度6強を観測し、地震の規模はマグニチュード7.5でした。この地震により「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が初めて発表されました。「北海道・三陸沖後発地震注意報」とは、千島海溝および日本海溝沿いにおいて巨大地震発生の可能性が高まった場合に、日本の内閣府および気象庁が発信する情報で、2022年12月16日に運用が開始されました。今回の発表は運用を開始してから初めての発表であり、メディア等でも取り上げられ話題となりました。そこで、「北海道・三陸沖後発地震注意報」について簡単に解説します。

北海道・三陸沖後発地震注意報

対象地域	北海道、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県にある182の市町村
発表条件	日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の想定震源域とそれに影響を与える外側のエリアでマグニチュード7.0以上の地震（先発地震）が発生した場合
注意情報	大地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっており、後発地震への注意を促す。 ※後発地震が必ず発生することを知らせるものではありません。 ※国や自治体から事前避難の呼びかけはしません。
期間	発表後1週間程度
防災対応	社会経済活動を継続した上で必要な防災対応を実施する。 具体例) ・就寝時はすぐに避難できる態勢で ・非常持出品の常時携帯 ・緊急情報取得体制の確保 ・平時からの備えの再確認

関西に在住の方々にはあまり関係のない話かもしれませんが、北海道や東北地方への旅行中や出張中に遭遇することも考えられます。内容をよく理解して、すでに発生した先発地震への対応と後発地震に備えた対応を混同しないように注意しましょう。

〈防災士 荻野勝也〉